

## 第3回就職説明会資料

平成22年6月14日

### 1 学校紹介によって就職試験を受けるための決まり

- ① 3年間の成績と出席状況から判断して、留年のおそれがない者しか紹介できない。
  - ・ 3年生の1学期までの成績で、欠点が3科目を超えないこと。
- ② 学校（進路指導部）の指導に従って、就職説明会や就職面談を受けなければならない。
  - ・ 就職説明会や就職面談の無断欠席は、認めない。休む場合は、事前に連絡すること。
  - ・ 学校（生活指導部や進路指導部）が求める頭髪の基準に違反しないこと。
  - ・ 企業選択から履歴書の作成、面接練習まで先生（進路指導部）が手助けする。

学校からの紹介を受けるならば、就職説明会や就職面談に休まないという覚悟を持つ。

- ③ 保護者の方とよく相談した上で、保護者の了解を得て受験企業を決める。
  - ・ 就職説明会で提出する書類は、保護者に確認してもらった上で提出すること。
- ④ 夏休み中も就職指導に従うこと。
  - ・ 夏休み中にある就職説明会や就職面談にも休まない。
  - ・ 夏休み中に登校する時も、学校の頭髪基準に違反しないこと。
- ⑤ どの企業に推薦するかは、8月20日の「推薦会議」で決める。
  - ・ 推薦を受ける者は、就職説明会や就職面談に出席して、所定の書類を出すこと。
- ⑥ 推薦会議での選考基準
  - 1) 3年間の評定平均値（3年の成績は1学期の中間考査と期末考査から算出する）
  - 2) 3年間の出席状況（欠席の他、遅刻や早退も減点対象とする）
  - 3) 3年生での就職説明会と就職面談の出席状況と模擬試験の点数
  - 4) その他、部活動や生徒会活動、本人の適性や就職に対する意欲などを考慮する。

3年間の成績（評定値）と出席状況のいい人から、推薦する企業を決めていく。

- ⑦ 就職試験を受けて、内定をもらった場合、内定企業への就職を辞退できない。
- ⑧ 就職試験を受ける者は、公務員試験を併願することはできない。
- ⑨ 企業から内定をもらっても、卒業は約束されないので、本校の進級規定に従って4教科以上の欠点がある場合や欠課時数が3分の1を超えた場合、留年になる。

### 2 就職試験の内容

- ① 面接
  - ・ 選考にあたって、面接が最も重視される。人柄や就職への意欲などを見る。
- ② 一般常識
  - ・ 漢字、歩合計算、英単語、政経、地理、歴史などの問題が出される。悪いと落とされる。
  - ・ 就職説明会では、「一般常識 サポートドリル」から出題した模擬試験をおこなう。
- ③ 適性検査
  - ・ 厚生労働省発行の『一般適性試験』や『クレペリン検査』を行う企業もある。
- ④ 作文
  - ・ 「志望動機」や「社会人としての夢」などを書かせる企業もあるが、少なくなった。

### 3 面接試験で重視されること

#### ① あいさつ・マナー

- ・ 「お早うございます」「よろしくお願ひします」「ありがとうございます」「失礼します」などの挨拶、「はい」という返事を相手を見て、大きな声で言う。

- ・ 会社内の人間関係（上司や同僚）、顧客との対応は、あいさつから始まるので、自然に挨拶が言えるように心がけなければならない。
- ・ 先生に挨拶したり、先生と話す時に敬語を使う練習をしておく。

#### ② 身だしなみ（服装・髪型・髪の色・ピアスなど）

- ・ 身だしなみができていれば、初対面の時、相手に良い印象を与えることができる。
- ・ 服装（清潔感、その場にふさわしい着こなし…高校生なら制服を正しく着る）
- ・ 態度（てきぱきしている、まじめで誠実な態度、明るさ）と笑顔、座る姿勢や歩き方や礼

- ・ 次の就職説明会では、制服のシャツとズボン、スカートを着用する。
- ・ 学校の指導に従った頭髪にしておくこと。（茶髪の者は改善しておくこと）
- ・ 次の就職説明会で、きちんと学校の規則を守った制服と頭髪かをチェックする。

#### ③ 働く意欲

- ・ 会社のことをよく調べているか、求人票や会社案内を見ているかなどを見る。
- ・ 社会人として働く自覚を持っているかとか、働く目的を明確に持っているかを判断する。
- ・ アルバイトと社員の違いが分かっているか。（アルバイト経験ほど正社員は甘くない）

### 4 今、しなくてはならないこと

- ① 自分がつきたい仕事（職種）は何か。また、なぜ、その仕事をしたいのか理由を考える。

- ② あいさつと笑顔を心がける。

- ・ 先生方に会ったら「お早うございます」、名前を呼ばれたら「はい」
- ・ 職員室に入る時は、「失礼します。3年〇組〇〇です。◎◎先生おられますか」

- ③ 身だしなみを正す。

- ・ 生活指導部から頭髪の改善を求められている者は、次回の説明会には直しておく。
- ・ ピアスをつけている者は、学校で身につけないのはもちろん、耳の穴をふさぐこと。
- ・ まゆげをそって細い者や書いている者は、まゆげをのばしておくこと。

- ④ 日常会話でも敬語を意識して使う。

- ・ 先生に用事がある時話す時は、必ず敬語を使う。（普段から敬語を使う練習をする）

- ⑤ 1階進路指導室にある「昨年度の求人票」（緑のファイル）を調べる。

- ⑥ 7月1日から、君たち31期向けの求人票がくるので、来校者には、あいさつをすること。

- ⑦ 「職業紹介（推薦）依頼書」（黒ボールペン、印）を2番日（月）の就職説明会に提出する。

## 第2回 大学・短大進学説明会

2010/06/15

<大学・短大進学指導の今後の日程>

7月5日(月)～9日(金)	期末考査
7月13日(火)	第3回大学・短大説明会
夏休み中	オープンキャンパス・体験入学に参加
8月24日(火)	授業開始 第4回大学・短大説明会<指定校推薦の説明>
8月25日(水)～9月1日(水)	第1次指定校推薦受付
8月28日(土)	第2回進学模試
9月2日(木)	指定校推薦第1次選考
9月3日(金)～15日(水)	第2次指定校推薦受付
9月16日(木)	指定校推薦第2次選考
9月21日(火)	第5回大学・短大説明会
9月下旬	指定校推薦者面接練習
10月上旬	指定校推薦入試出願
10月下旬	公募制推薦入試出願
11月上旬	公募制推薦入試

★ 保護者懇談も終わり、進学についてかなり具体的な話ができています。校外の進学説明会に参加したり、資料を取り寄せて、すでに志望大学・学部・学科をほぼ決めているという人もいます。今一度、次のことをよく確認して下さい。

- ①受験する学部・学科…どんな勉強をしたいのか？  
どんな資格を取得したいのか？  
どういう職業に就きたいのか？
- ②受験する大学・短大…自分の今の学力が、その大学のレベルと比べてどうか？  
卒業生の就職はどうか？  
通学手段・通学時間はどうか？  
学校・学生の雰囲気(学風)はどうか？自分に合うか？  
(→オープンキャンパス)
- ③受験の方法を考える…今の評定平均値や学力(実力)、個性など自分に合った入試方法を選んで下さい。受験の時期もよく調べて、指定校推薦以外は複数回受験することを考えて下さい。
  1. 推薦入試
    - a 指定校推薦(評定平均値3.0以上、欠席日数20日以内+各大学の基準)
    - b 公募推薦(期末考査を頑張り、評定平均値を上げよう)
  2. AO入試
  3. 一般入試
- ④授業料等、学費の確認…いつ頃に、どれだけの金額が必要か？
  - ★ 合格通知が届いてから約10日以内に入学金+前期授業料を納入する。それができない場合、原則として合格は取り消しになる。  
(約80万円、指定校推薦の場合なら10月下旬～11月上旬)

## 入試はもう動き出しています

### ①オープンキャンパスに行こう！

7月から(早いところはもう始まっている)夏休みにかけて、各大学でオープンキャンパス(体験入学、学校見学)が実施されます。8月の補充授業までに、必ず2校以上参加し、学校の場所・環境・設備の充実度、学部・学科の中身、教授・学生の雰囲気などを見ておきましょう。実際に自分の眼でよく見て、「絶対この大学で勉強したい！」と思えば、勉強にも身が入るはず。たいてい募集要項や過去問がもらえます。入試のポイントを教えてもらえることもあります。

<注意>

参加時の服装は、制服が無難ですが、高校生らしい服装なら私服でもいいでしょう。ただし、制服はきちんと着ましょう。短いスカート・ずり下がったズボンに上半身はTシャツなどというだらしない制服姿なら、こざっぱりした私服の方がましです。

また、大学構内で、タバコを吸う人はいないでしょうが、ゴミをその辺に捨てる・学校の設備に勝手に触れる、説明の最中に飲食をしたり、携帯をいじるなどという、非常識な行動のないように。大学の人は、あなたをちゃんと見ています。

### ②AO入試は、もう始まっている？

早いところは、エントリーがもう始まっているか、まもなく始まります。よく調べて、「もう、終わってた…」などということのないように。また、AOと指定校推薦は、基本的に併願はできません。日程をよく確認して下さい。

## 受験勉強をしよう

日々の授業を大切にするのはもちろんですが、それだけで受験を突破することはできません。また、入学後大学生としてやっていける学力としては、絶対的に不足しています。受験科目を調べて、受験勉強をして下さい。指定校推薦を考えている人も、だから今勉強しなくてよい、ということはありません。

- ★教科の先生に参考書・問題集を紹介してもらい、自分で解いていく。
- ★放課後、2B教室に残って自習する。
- ★進学補習に参加する(各教科の先生に相談して下さい)

## 「進路の手引き」を使いこなそう！

緑の表紙の「進路の手引き」は、西浦生専用の進路の資料で、進路決定に当たって基本的なこと、必要なことはすべてこの中に載っています。どこに何が書いてあるか確認しておきましょう。

## 第2回専門学校進路説明会

平成22年6月16日

### 1 専門学校とは（手引きP15）

- (1) 仕事に就くのに必要な専門知識や技術を学ぶ教育機関。
- (2) 専門学校として進化する設置基準を満たしていない学校を「無認可校」という。
  - ・「無認可校」は予約奨学金が受けられず、通学定期の割引もない。
  - ・入学願書の受付が10月1日より早く、1学期から願書を受付、入学金を払わせる。
  - ・先輩が入学した「無認可校」には、「ESPギタークラフトアカデミー」・「コスモ動物総合学園」・「ナンバペット美容」などがある。

### 2 専門学校の分野と卒業した後にしたい仕事

- (1) 専門学校の分野によって、就職できる仕事が決まる。
  - ・「仕事に必要な資格や専門知識を学ぶ」のが専門学校である。
  - ・就職させるために、実習の時間も多くて、出席管理も厳しい。（休めない！）
- (2) 進学したい分野、したい仕事は何かを考える
  - ・自分がしたい仕事は何か、その仕事の将来性はどうか、その仕事に就ける分野はどの分野で、どんな学科やコースを選べばその仕事に就けるのかを調べて志望校を選ぶ。

### 3 専門学校の資料（学校案内や募集要項）の入手

- (1) 専門学校の学校案内や募集要項を取り寄せる
  - ・専門学校を紹介した冊子に付いている葉書を送る。（ほとんど切手は不要）
  - ・校外で実施されている専門学校説明会に行く。学校の先生や職員から説明も聞ける。
  - ・専門学校に電話をして、あるいはホームページから、資料を送ってもらう。
- (2) 2階進路指導室にある学校案内や募集要項を見る
  - ・学年や進路担当の先生にお願いして、昼休みや放課後に開けてもらってください。

### 4 専門学校を見て（オープンキャンパス）から志望校を決める

- (1) 専門学校の体験入学やオープンキャンパス（学校見学会）に必ず行く。

・専門学校は、普段の土日や夏休みに体験入学や学校見学会などを開催している。  
・志望校が1校しかない人でも、同じ分野の学校の体験入学やオープンキャンパスに行き、複数の学校を見て比較しておく必要がある。

- (2) 体験入学やオープンキャンパス（学校見学会）の日程を知る。
  - ・専門学校を紹介した冊子やオープンキャンパス情報を見て、複数の学校を見に行く。
  - ・2階進路指導室横の廊下に体験入学やオープンキャンパスの案内ポスターを貼る。

### 5 専門学校の入試制度（手引きP16）

- (1) 推薦入試と一般入試
  - ・専門学校の場合、推薦入試も一般入試も（ ）月（ ）日から募集が始まる。
  - ・ほとんどの専門学校は、出願さえすれば、学科試験もなく合格することになる。
- (2) 指定校推薦入試（手引きP62からP64に昨年度の指定校推薦一覧表）
  - ・人数枠を越えた場合、評定値が高く、欠席数の少ない人を推薦する。
  - ・看護、医療を除く、ほとんどの専門学校で指定校推薦入試がある。
  - ・受けたい専門学校に指定校推薦があるかは、夏期補充授業以降に担当者に聞くこと。
  - ・指定校推薦を受けるには専門学校の定める条件と本校の推薦基準も満たす必要がある。  
「評定値 2.8 以上、かつ、3年間の欠席数 20 日以内」を原則とする。
  - ・指定校推薦の特典として、受験料の免除や入学金の減免、授業料の一部免除などを与えている場合では、指定校推薦で支払うお金が節約できる。

専門学校の指定校入試では、評定平均値による足切りがあったり、評定平均値が高ければ、さらに入学金や授業料の一部免除などの特典がある。

- (3) 志望校を絞ったら、西浦高校に指定校推薦の依頼があるか確認し、志望校を比較する。
  - ・夏休みの終わりにある3年生の補充授業（8月24日から31日）期間中に指定校推薦説明会をおこなうので、必ず出席する。
  - ・指定校推薦の依頼があるかは、補充授業期間に専門学校担当者に相談して聞いておく。